

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	17 - 文芸 - 2
-----------------	-------------

平成 17 年度配分 研究成果の概要

研究名	これからの大学における研究センターのあり方に関する調査研究				
配分を受けた特別研究費	文化・芸術研究センター長特別研究費				2,000 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	文化政策学部	芸術文化学科	教授	伊藤 裕夫	全体統括、まとめ
共同研究者	文化政策学部	国際文化学科	教授	須田 悦生	他大学研究センター調査
	デザイン学部	空間造形学科	教授	大倉富美雄	他大学研究センター調査
	デザイン学部	技術造形学科	助教授	長嶋 洋一	事業・イベント
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	③ その他 発表の方法:センター長への提案		発表日 (発表 予定日)	平成 18 年 3 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

大学の特徴ある研究強化と地域社会への貢献が強く求められる中、本学両学部の連携を軸とした文化・芸術研究センターの活動のあり方について、他大学の研究センターの実態把握を踏まえて、本学ならではの研究センターのあり方——事業、組織、運営までを検討し、提言する。

(研究の実施方法等)

- (1) 国内他大学の研究所・研究センター、地域社会貢献センター、エクステンションセンターに対するアンケート調査
- (2) 特色ある他大学のセンターの視察、ヒアリング調査
- (3) 以上を踏まえた、本学の文化・芸術研究センターのあり方の提言書作成

(得られた成果等)

本学ならではの文化・芸術研究センターの機能を明確にし、今後センターのあり方検討していく資料として活用していくことで、学部・学科を超えた共同研究や協働事業の拡大、産学官連携や地域社会との連携を通じた地域社会貢献、また文科省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」、さらには将来的にCOEなどの獲得につなげていくことが期待できる。